

米織 ストール

<http://www.phototex.jp/>

米沢織 (よねざわおり)

山形県米沢市は、古くは伊達政宗や上杉謙信、直江兼続など、名だたる武将に由縁のある歴史的な土地で、江戸時代には米沢藩の城下町として栄えた町です。

米沢織は米沢で生産される織物の総称で、江戸時代中期に第9代藩主、上杉鷹山が財政改革のため、当時米沢で生産されていた糸を武士たちに織物に織らせて、付加価値の高い産業として発展させたことが始まりでした。

先染め細番手の糸を用い、高密度な紋織りが特長で、現在はハイブランドの生地生産地として認知され、地元やファッション関係の人々には「米織 (よねざわおり)」の名称で親しまれています。

